市町村名	宜野座村

平成２７年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	リバーパーク整備事業（観光拠点施設整備）		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－（ウ） 観光客受入体制の整備
担当部課名	宜野座村建設課	事業実施(予定)年度	H26～27 H27（繰越）	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容	平成23年度に作成した「漢那福地川リバーパーク基本計画」を素案として、検討委員会にて計画実施にむけての細部を協議し、漢那福地川周辺の豊かな自然を活かした観光拠点整備を推進する。昨年度、当該計画地の村有地化（公共空地の購入）が完了し、本年度は、観光情報拠点施設整備に向けて実施設計を行う。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		27年度	27年度（繰越）	28年度	29年度	30年度
予算の状況	(a)当初予算額	285.346	-			
	(b)予算現額	287.146	-			
	(c)増減額(b-a)	1,800	-			
	(d)繰越額	0.000	254.340			
	A．計(b+d)	287,146	254,340			
B．執行済額		10,003	210,751			
うち交付金充当額		8,002	168,600			
次年度繰越額		254,340	-			
執行率（%）（B/A）		3.5%	82.9%			
予算の状況の説明		漢那リバーパーク等整備検討委員会にて計画実施にむけての細部について協議を行った。観光拠点施設整備の実施設計を発注したが、地質調査において、想定を超える深度となった事で基礎工法の比較検討に不測の日数を要したことから繰越となった。また、整備工事についても実施設計完了後の発注となることから繰越となった。 不用額が53,238,000円となったが、護岸工事における仮設（止水）工法の見直しに不測の日数を要したことから、出来高での清算として不用額が生じたことが要因となっている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H27活動目標（指標）		達成状況 27年度繰越完了	28年度	29年度	30年度
・リバーパーク整備等検討委員会の開催（具体的な実施整備について協議） ・観光拠点施設整備（観光センター）の建築実施設計（22,140）2,600㎡ ・観光拠点施設整備（公園等）の土木実施設計（8,640）・土木工事（254,340）5,650㎡	目標	（検討委員会の開催 建築実施設計 土木実施設計 土木工事）	（　）	（　）	（　）
	実績	検討委員会の開催済 建築実施設計の完了 土木実施設計の完了 土木工事の完了			
	目標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実績				
達成状況説明	漢那リバーパーク等整備検討委員会にて計画実施にむけて細部について協議を行った。 観光拠点施設整備の実施設計（建築及び土木）を発注したが、地質調査において、想定を超える深度となった事で基礎工法の比較検討に不測の日数を要したことから繰越すこととなったが、平成２８年６月末日までに完了している。 平成２８年９月に土木工事（護岸工事・駐車場工事）を発注し、平成２９年３月に工事を完了している。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H27成果目標（指標）		27年度繰越完了	28年度	29年度	30年度	目標値（年度）
・漢那リバーパーク整備計画施策の作成 ・ゲートゾーン（観光センター及び周辺公園整備など）の整備進捗率（27.1%）	目標	（施策作成 整備進捗率 27.1%）		（　）	（　）	（　）
	実績	施策作成完了 整備進捗率11.2%				
	目標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実績					
進捗状況説明	実施設計を完了。土木工事を発注し活動目標は達成している。 H28にリバーパーク整備事業に係る全体事業費の変更があったため、事業全体の進捗率としては下がる原因となった。 （27.1%→11.2%）					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	漢那リバーパーク整備工事については、整備検討委員会おいて計画実施にむけ協議を行い観光拠点施設整備の実施設計を発注したが、地質調査において、想定を超える深度となった事で基礎工法の比較検討に不測の日数を要したことから繰越となった。 また、整備工事についても実施設計完了後の発注となることから繰越となった。	実施設計においては当初計画より地質調査結果に伴い履行に遅れがでたが、今後は事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った履行期間及び工期設定を行いたい。 また、観光拠点施設完成後に施設への入込客の増加を図り、にぎわい創出と宜野座村の魅力の向上、観光産業振興、地域経済の活性化に向け取り組む。

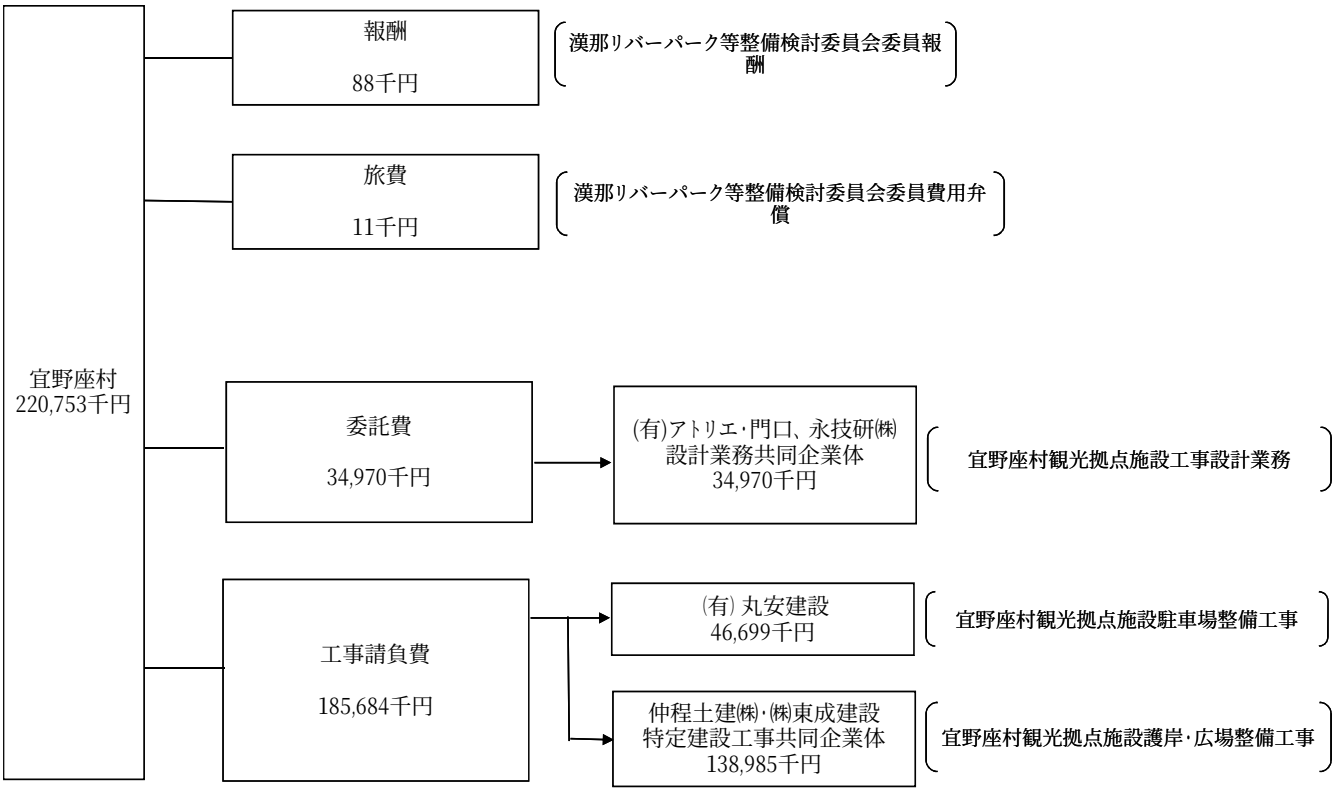
今後の取り組み方針

宜野座村の観光拠点施設を整備し、東海岸線に立地する観光施設と連携・交流を強化することで東海岸の滞在型・周遊型観光ルートを確立し、観光入込み客の増加を図ることで北部地域の観光産業振興や地域の活性化を図る。

留意事項

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
220,753	220,753	176,602	44,151	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○不用額が53,238,000円となったが、護岸工事における仮設（止水）工法の見直しに不測の日数を要したことから、出来高での清算として不用額が生じたことが要因となっているが、当初計画していた事業規模としては適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	